

お知らせ サステナビリティ

📅 2026.04.07

23回目「ランドセルは海を越えて」旅立ち準備を実施～アフガニスタンに送るランドセルを開梱・検品・箱詰め～

～女子スキージャンプ・高梨沙羅選手も参加～

株式会社クラレ

株式会社クラレ（本社：東京都千代田区、社長：川原 仁）は、4月4日、今年で23回目となる国際社会貢献活動「ランドセルは海を越えて」の旅立ち準備を、横浜市中区南本牧の倉庫において三菱倉庫株式会社様の協力も得て、実施しました。

「ランドセルは海を越えて」は、6年間の思い出が詰まったランドセルを全国から寄贈いただき、アフガニスタンの子どもたちにプレゼントする活動です。2004年に開始し、これまでに約17万個のランドセルが海を渡りました。23回目となる今年は約8,000個のランドセルをご応募をいただき、今年入社した新入社員65名や当社社員でもある女子スキージャンプの高梨沙羅選手など、約180名の社員ボランティア、関係者が力を合わせて、色とりどりのランドセルを開梱・検品・箱詰めしました。



約180名のボランティアたちが「ランドセルは海を越えて」旅立ち準備に集結

開会式で藤原常務は、「ご応募いただいたランドセルにボランティアの皆さんの気持ちを詰め込んで、アフガニスタンに送りましょう」とあいさつしました。

の手によって新しいダンボール箱に梱詰めされました。また、現地の子どもたち一人ひとりに行きわたるように、一緒に送っていただいたノート、鉛筆、クレヨンなどの学用品も仕分けを行い、梱包しました。

ボランティアに参加した新入社員は「就職活動中からこの活動のことは知っていて、このような社会貢献活動をしている会社で勤めたいと思っていました」と話し、全国から寄せられた思いの詰まったランドセルを前に感銘を受けながら、仲間たちと息の合った働きを見せていました。社員の一人として参加した高梨選手は、「この活動に加わることがうれしい。ランドセルの数だけ思い出がある。アフガニスタンの子どもたちにまた次も大切に使用してもらえたらという思いで梱包した」と話しました。

旅立ちの準備を終えたランドセルは今後、パートナーであるアフガン医療連合センターと連携し、現地における安全確保、物流環境を総合的に確認の上、適切な手段を選択し、アフガニスタンに輸送します。

ランドセルを寄贈いただいた皆さま、今回会場を提供いただくとともに、作業をサポートしていただいた倉庫会社の皆さま、多くのご関係の皆さま、本当にありがとうございました。



目立つ汚れや破損がないか、丁寧に確認する高梨選手



文房具を仕分ける新入社員ボランティアたち

[トップページ](#) / [ニュース（新着）](#) /

[23回目「ランドセルは海を越えて」旅立ち準備を実施 ～アフガニスタンに送るランドセルを開梱・検品・箱詰め～](#)

[クラレについて](#)



[サステナビリティ](#)



[製品情報](#)



[イノベーション](#)



[投資家情報](#)



[電子公告](#)

[プライバシーポリシー](#)

[アクセスデータの取扱い](#)

[ディスクロージャー・ポリシー](#)

[ソーシャルメディアポリシー](#)

[ご利用にあたって](#)

